

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		B-1		調査位置		神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地		北緯		35° 23' 37.8341"	
発注機関		横浜市政策局 基地対策課		調査期間		令和02年02月05日～令和02年02月10日		東経		139° 30' 0.1087"	
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>180° 上 90° 下 0°</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>北 0° 西 270° 東 90° 南 180°</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>北 0° 東 90° 南 180° 西 270°</p> </div> </div>											
孔口標高		H= 42.26 m		方位		地盤勾配		使用試験機		ワイビーエム YBM-05	
総削孔長		36.00 m		度		位置		エンジン		ヤンマー NFD-9	
								ポンプ		東邦地下工機 BG-3	

[illegible]

図1.4.2 (1) ボーリング調査の結果

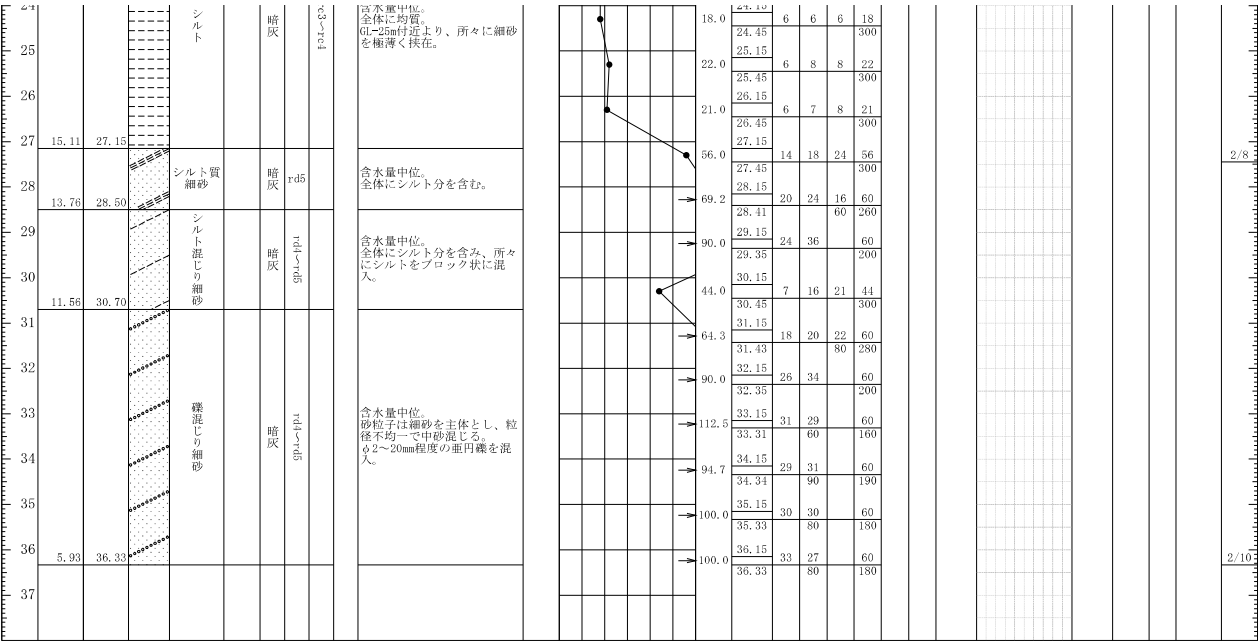


図1.4.2 (2) ボーリング調査の結果
資1.4-4

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

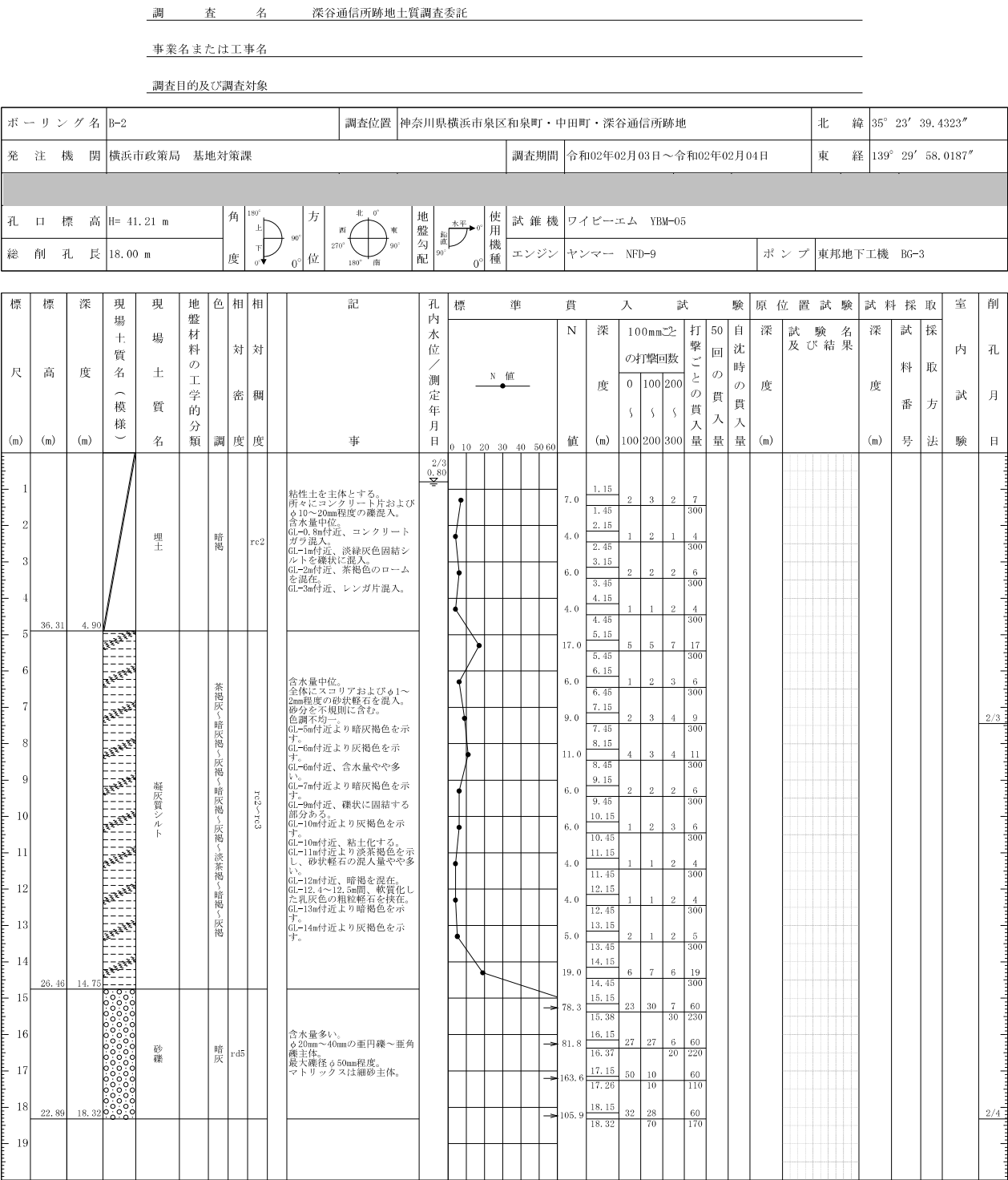

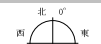



図1.4.2（3） ボーリング調査の結果
資1.4-5

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名		深谷通信所跡地土質調査委託									
事業名または工事名											
調査目的及び調査対象											
ボーリング名	B-3	調査位置	神奈川県横浜市泉区と泉町・中田町・深谷通信所跡地		北 緯	35° 23′ 44.6239″					
発 注 機 関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和02年02月13日～令和02年02月17日		東 経	139° 29′ 53.6470″					
孔 口 標 高	H= 41.80 m	角 度		方 位		地 盤 勾 配		使用機種	ワイビーエム YBM-05		
総 削 孔 長	33.00 m							エンジン	ヤンマー NFD-9	ポン プ	東邦地下工機 BG-3

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色相対対密稠度	記	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験										原位置試験				試験採取	室内試験	削								
									N 値	N 値	深 度 (m)	100mmごとの の打撃回数			打撃ごとの貫入量	50 回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試験及び結果	深 度 (m)	試験番号	採取方法											
0	100	200																															
1				埋土		暗褐色～暗灰色 暗褐色～黒褐色 暗褐色～黄茶	rc1	粘性土を主体とする。 所々にコンクリート片およびφ10～20mm程度の礫混入。 含水量やや多い。 GL-0.8～1.0m間、コンクリートガラ混入。 GL-1.0mより、暗灰色を示す凝灰質シルト主体。 GL-2m付近より黒褐色を示す。 GL-2m付近、やや粘土質。 GL-3m付近、ビニール片混入。 GL-4m付近より黒褐色を示す。 GL-5m付近、黄茶色を示すローム主体。	2/13 1.90	4.0	1.15	1	2	1	4	300																	
2			1.45												2.6										2.15	1	1	1	3	2.50	150	350	
3			2.50								150	350	3.15	1	1										1	2	3.50	200	150	350	4.15		
4			4.60								450	450	5.15	1	2										3	5.45	250	50	300	6.15			
5	36.65	5.15	6.15								1	2	3	6.50	200										150	350	7.15	1	1	2	7.50	350	350
6				凝灰質シルト		暗灰色～灰色 灰色～暗灰色 灰色～淡灰色 暗灰色～暗褐色 暗褐色～暗褐色	F31～F34	含水量中位。 全体にスコリアおよびφ1～2mm程度の砂状軽石を混入。 砂分を不規則に含む。 色調不均一。 GL-7m付近より灰色を示す。 GL-8m付近より暗褐色を示す。 GL-9m付近より暗褐色を示す。 GL-7～9m間、砂状軽石の混入量やや多い。 GL-11m付近より灰色を示す。 GL-11m付近、粘土分やや多く含む。 GL-12m付近、淡灰～乳黄灰色を示す軟質化した軽石を挟在。 GL-13m付近より暗褐色を示す。 GL-13m付近、砂状軽石を1cm程度の厚さで挟在。 GL-14m付近より暗褐色を示す。	2/13 1.90	4.0	1.15	1	2	1	4	300																	
7			1.45												2.6									2.15	1	1	1	3	2.50	150	350		
8			2.50								150	350	3.15	1	1									1	2	3.50	200	150	350	4.15			
9			4.60								450	450	5.15	1	2									3	5.45	250	50	300	6.15				
10			6.15								1	2	3	6.50	200									150	350	7.15	1	1	2	7.50	350	350	
11			7.15								1	1	2	7.50	350									350	8.00	0	1	1	8.45	250	200	450	
12			8.45								250	200	9.15	1	1									2	9.45	150	150	300	10.15	2	2	2	6
13			10.15								2	2	2	10.45	300									11.15	1	1	1	3	11.45	200		300	
14			12.15								8	10	9	12.45	300									13.15	2	1	1	4	13.45	300			
15			14.15								1	1	1	14.45	300									15.15	2	2	2	6	15.45	60	60	100	
16	26.05	15.75	16.25	60	60	16.50	60	60	17.15	60	60	60	60	17.20	50	50																	
17			18.15	26	26	8	18.38	30	230	19.15	60	60	60	19.16	10	10																	
18			20.15	34	26	60	20.34	90	190	21.15	27	33	60	21.35		200																	
19			22.15	30	30	60	22.33	80	180	23.15	26	34	60	23.35		200																	
20			24.15	4	4	5	13	300	24.45					25.15																			
21				砂質シルト		暗灰	rc3	含水量中位。 全体に砂分を含む。		13.0	24.45																						
22			24.45																														
23	18.10	23.70	24.45																														
24	17.00	24.80	24.45																														
25																																	

図1.4.2（4） ボーリング調査の結果

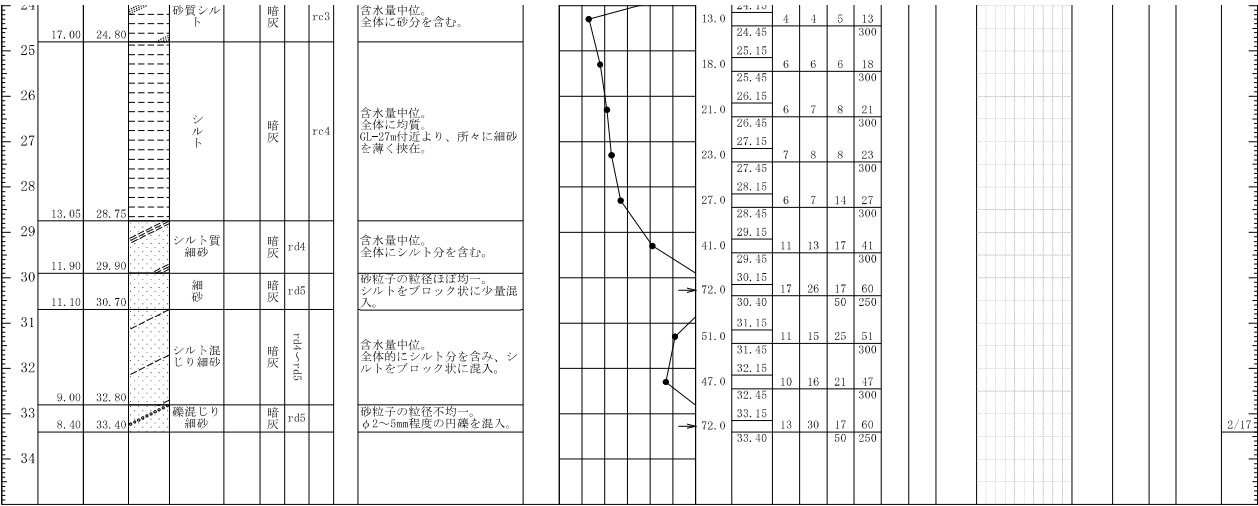





図1.4.2 (5) ボーリング調査の結果
資1.4-7

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名
深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		B-4		調査位置		神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地				北緯		35° 23′ 58.9933″					
発注機関		横浜市政策局 基地対策課				調査期間		令和02年02月07日～令和02年02月13日				東経		139° 30′ 16.1652″			
孔口標高		H= 42.78 m				方位				地盤勾配				使用機種		扶桑工業 KR-100HB	
総削孔長		37.00 m						エンジン		ヤンマー TF-90		ポンプ		扶桑工業 V-6			

標尺	標高	深度	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色相対密度	相対密度	記号	孔内水位/測定年月日	標準貫入試験	原位置試験	試験採取	室内試験
(m)	(m)	(m)								N 値			
1	41.88	0.90		埋土		黒灰							
2				ローム		暗褐色泥							
3													
4	38.48	4.30											
5													
6													
7						暗褐色泥							
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15	27.18	15.60											
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23	19.28	23.50											
24	18.28	24.50		粘土混じりシルト		暗灰							
25													

図1.4.2 (6) ボーリング調査の結果

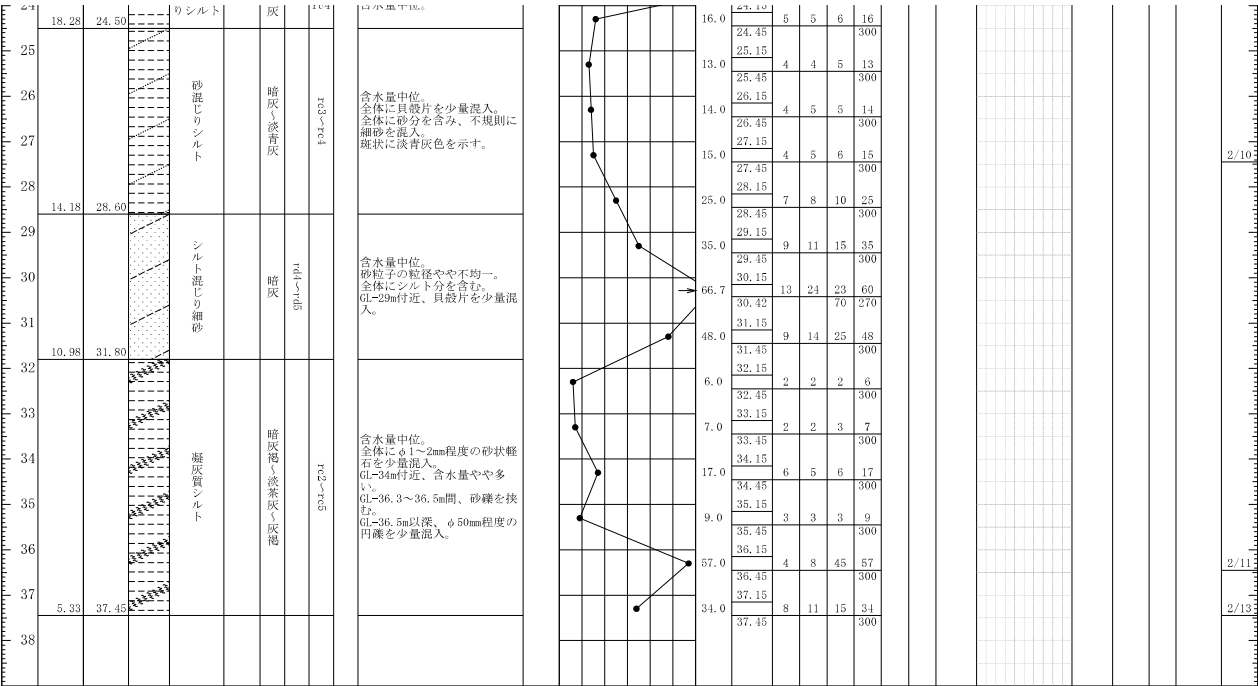




図1.4.2 (7) ボーリング調査の結果
資1.4-9

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-5		調査位置		神奈川県横浜市泉区と泉町・中田町・深谷通信所跡地			北緯		35° 23′ 48.7370″				
発注機関	横浜市政策局 基地対策課					調査期間		令和02年02月07日～令和02年02月08日		東経		139° 29′ 48.4854″		
孔口標高	H= 41.30 m		角				方位				使用機種		試験機 東邦地下工機 D-0	
総削孔長	17.00 m		度				位置		エンジン		ヤンマー TF-90		ポンプ 東邦地下工機 BG-4	

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色相対密度	相対密度	記号	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験	原位置試験	試験採取	室内試験	削孔
(m)	(m)	(m)								N 値				
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12	29.75	11.55												
13														
14														
15														
16	25.50	15.80												
17	25.05	16.25												
18	23.93	17.37												

図1.4.2（8） ボーリング調査の結果

資1.4-10

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

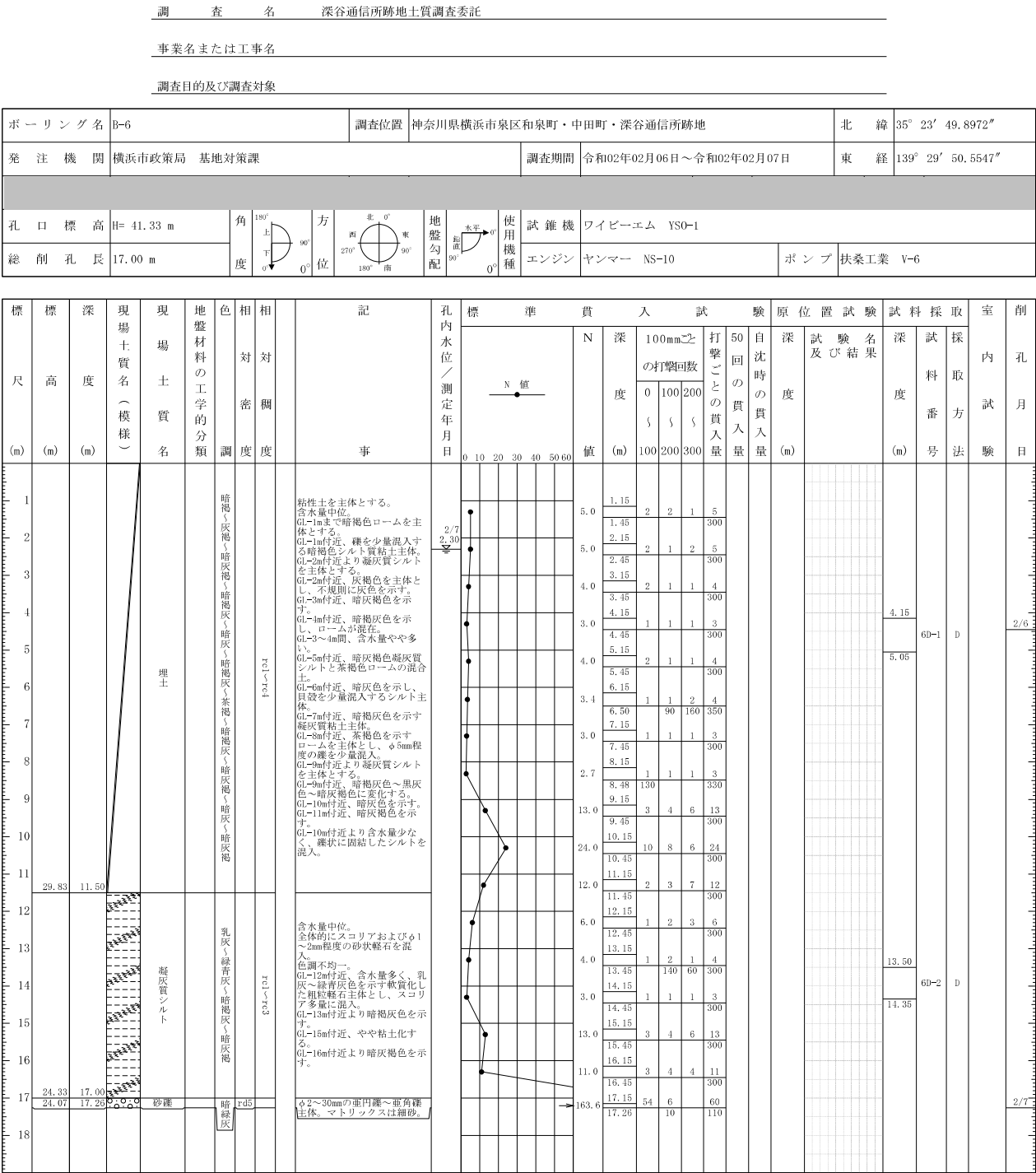


図1.4.2（9） ボーリング調査の結果
資1.4-11

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

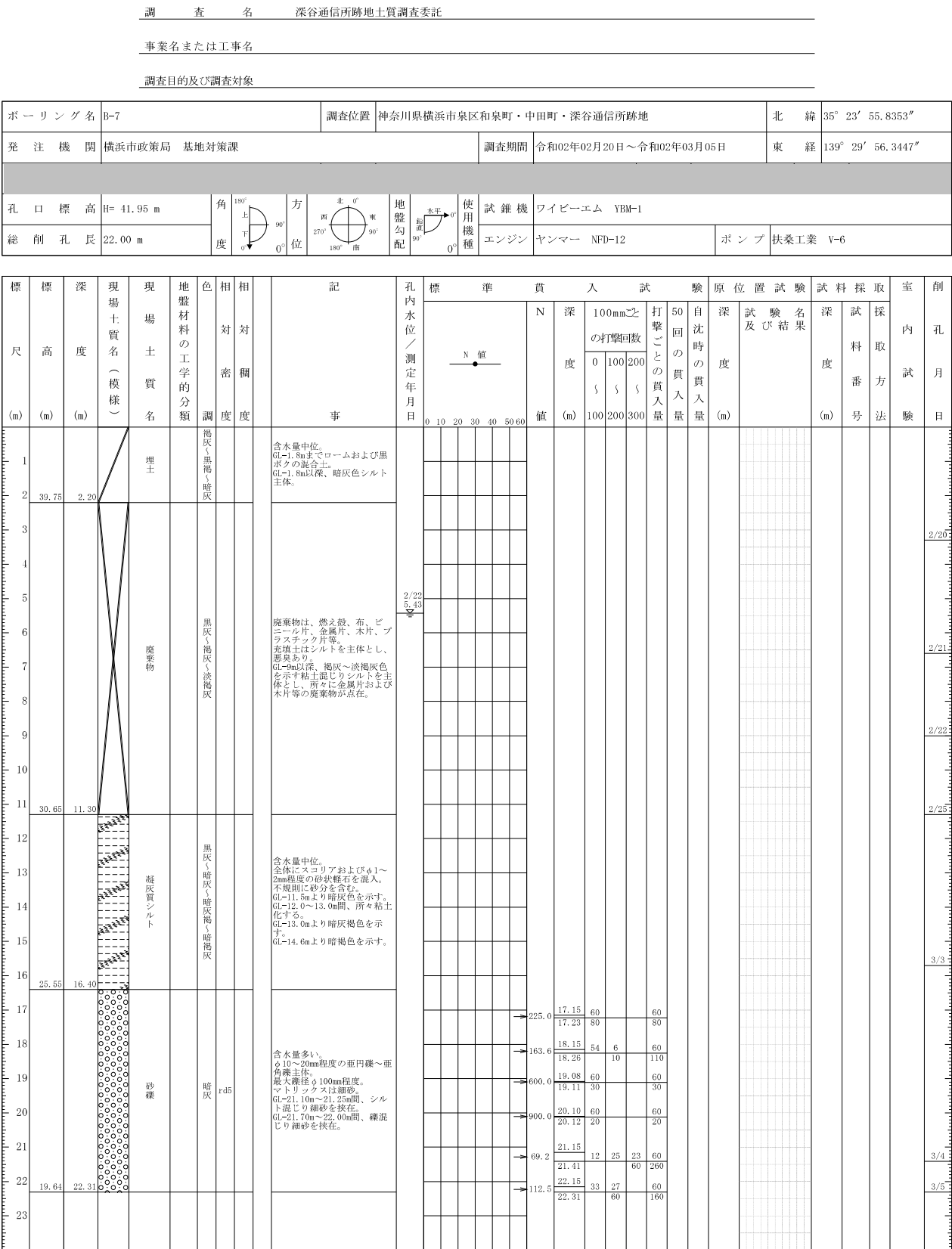


図1.4.2（10） ボーリング調査の結果

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	深谷通信所跡地土質調査委託		
事業名または工事名			
調査目的及び調査対象			

ボーリング名		B-8		調査位置		神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地				北緯		35° 24′ 1.9206″													
発注機関		横浜市政策局 基地対策課				調査期間		令和02年02月15日～令和02年02月26日				東経		139° 29′ 57.2612″											
孔口標高		H= 41.49 m		角				方位				地盤勾配				使用機種		試験機		扶桑工業 KR-100					
総削孔長		17.00 m		度		上 180° 下 0°		位		0°		配		90°		種		エンジン		ヤンマー TF-90		ポンプ		扶桑工業 V-6	

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験	原位置試験	試験採取	室内試験	削孔											
(m)	(m)	(m)							事		N 値				月											
	40.49	1.00		埋土		褐灰			ロームと黒ボクの混合土。全体に礫が点在。	2/18 1.37																
2			廃棄物			黒灰～黒褐～淡褐灰		C21～C24	廃棄物は、燃え殻、布、ビニール片、金属片、ゴム片、レンガ片、木片、プラスチック片等。 φ120～150mm程度の礫を点在。 充填土はシルトを主体とし、悪臭あり。 GL-4.9～7.5m間、黒灰～黒褐色シルトを主体とし、所々にビニール片等の廃棄物が点在。 GL-7.5m以深、淡褐色凝灰質シルトを主体とし、ビニール片および陶器片等の廃棄物が点在。 GL-7.5m付近より含水量多い。	2/18 1.37	7.0	1.15	3	2	2	7	300									
3										11.0	2.15	2	2	7	11	300										
4										35.0	2.45	8	15	12	35	300										
5										12.0	3.15	3	4	5	12	300										
6										2.9	3.45	3	4	5	12	300										
7										1.8	4.15	1	1	1	3	310										
8										2.6	4.45	110	1	1	2	310										
9										1.3	5.15	180	1	1	2	330										
10	31.89	9.60								埋土			暗灰			凝灰質シルト主体。含水量中位。	2/18 3.66	1.0	6.48	180	150	330				
11	31.19	10.30														粘性中位。 全体的にスコリアおよびφ1～2mm程度の砂状軽石を混入。 砂分を不規則に含む。 色調不均一。 GL-11.1m付近より灰褐色を示す。 GL-12m付近より黒褐色を示す。 GL-13m付近より灰褐色を示す。 GL-14m付近、含水量やや多い。 GL-14.3～14.8m間、細砂状のスコリアを挟在。 GL-15m付近より灰褐色を示す。	2/18 3.66	1.9	7.49	120	120	340				
12			凝灰質シルト			黒褐～灰褐～黒褐～灰褐		C24～C27	φ20～40mm程度の重円礫～重角礫主体。最大礫径φ50mm程度。 マトリックスはシルト主体。 φ20～40mm程度の重円礫～重角礫主体。最大礫径φ50mm程度。 マトリックスは細砂主体。	2/18 3.66	0.8	8.15	1	1	1	3	340									
13										1.0	8.60	1	1	2	450											
14										1.9	9.15	1	1	1	3	370										
15										4.0	10.15	0	1	1	370											
16										3.8	10.45	80	220	300												
17										8.0	11.15	1	1	2	300											
18										9.0	11.46	170	140	310												
19										48.0	12.15	1	1	2	4	300										
20										69.2	12.45	110	90	300												
21										69.2	13.15	2	1	1	4	320										
22			69.2	13.47	140	80	320																			
23			69.2	14.15	2	1	5	8	300																	
24			69.2	14.45	150	50	300																			
25			69.2	15.15	3	3	3	9	300																	
26			69.2	15.45	15	11	22	48	300																	
27			69.2	16.15	17	24	19	60	300																	
28			69.2	16.45	17	24	19	60	300																	
29			69.2	17.15	17	24	19	60	300																	
30			69.2	17.41	17	24	19	60	300																	

図1.4.2（11） ボーリング調査の結果
資1.4-13

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名

深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-9	調査位置	神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地				北緯	35° 23′ 41.2868″		
発注機関	横浜市政策局 基地対策課				調査期間	令和02年02月20日～令和02年02月27日		東経	139° 39′ 0.1590″	
孔口標高	H= 42.13 m	角		方位		地盤勾配		使用機種	ワイビーエム YBM-05	
総削孔長	16.00 m	度	0°					エンジン	ヤンマー NFD-9	ポンプ 東邦地下工機 BG-3

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験	原位置試験	試験採取	室内試験	削孔
(m)	(m)	(m)									N 値				
1				埋土		暗灰褐色		rc5	シルト主体、アスファルト片およびコンクリートガラ混入。GL-1m付近よりL=10cm程度のコアとして採取されるコンクリートガラの混入多くなる。	2/21 2.30	72.0	1.15 2.3 55 60			
2	40.13	2.00									9.0	2.15 4.3 29			
3											11.0	3.15 5.3 33			2/21
4											11.0	3.45 5.3 33			
5				廃棄物		黒灰		rc1~rc4	含水量多い。コンクリートガラ、コンクリート片、金属片、木片、陶磁器片、ガラス片、プラスチック片等。充填土はシルトを主体とし、悪臭あり。GL-6~7m付近、廃棄物の混入量やや少ない。		6.0	4.45 2.2 26			
6											12.0	5.45 3.5 41			
7											26.0	6.15 4.6 16			
8											17.0	7.45 6.5 61			2/22
9	32.98	9.15									16.0	8.45 7.5 41			2/25
10											3.0	9.45 1.1 13			
11											10.0	10.15 3.3 41			
12				凝灰質シルト		暗灰褐色／暗褐色		rc1~rc3	含水量中位。全体にスコリアおよび1~2mm程度の砂状軽石を混入。不規則に砂分を含む。色調不均一。上部解境付近、含水量やや多い。GL-10m付近、スコリアを多量に混入。GL-12m付近より暗褐色を示し、砂状軽石の混入量やや多くなる。GL-13m付近より黒褐色を示す。GL-14m付近より暗灰褐色を示し、粘土化する。GL-15m付近より淡緑灰を示し、砂状軽石の混入量少なくなる。		6.0	11.45 1.2 36			
13											7.0	12.45 2.2 37			2/26
14											3.0	13.15 1.1 13			
15	26.78	15.35									5.0	14.45 2.1 25			
16	25.77	16.36		砂礫		暗灰		rd5	含水量多い。φ20~30mm程度の亜円礫～亜角礫主体。最大礫径φ40mm程度。マトリックスは細砂主体。		15.0	15.45 3.2 10			
17											85.7	16.15 31 25			2/27

図1.4.2（12） ボーリング調査の結果

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

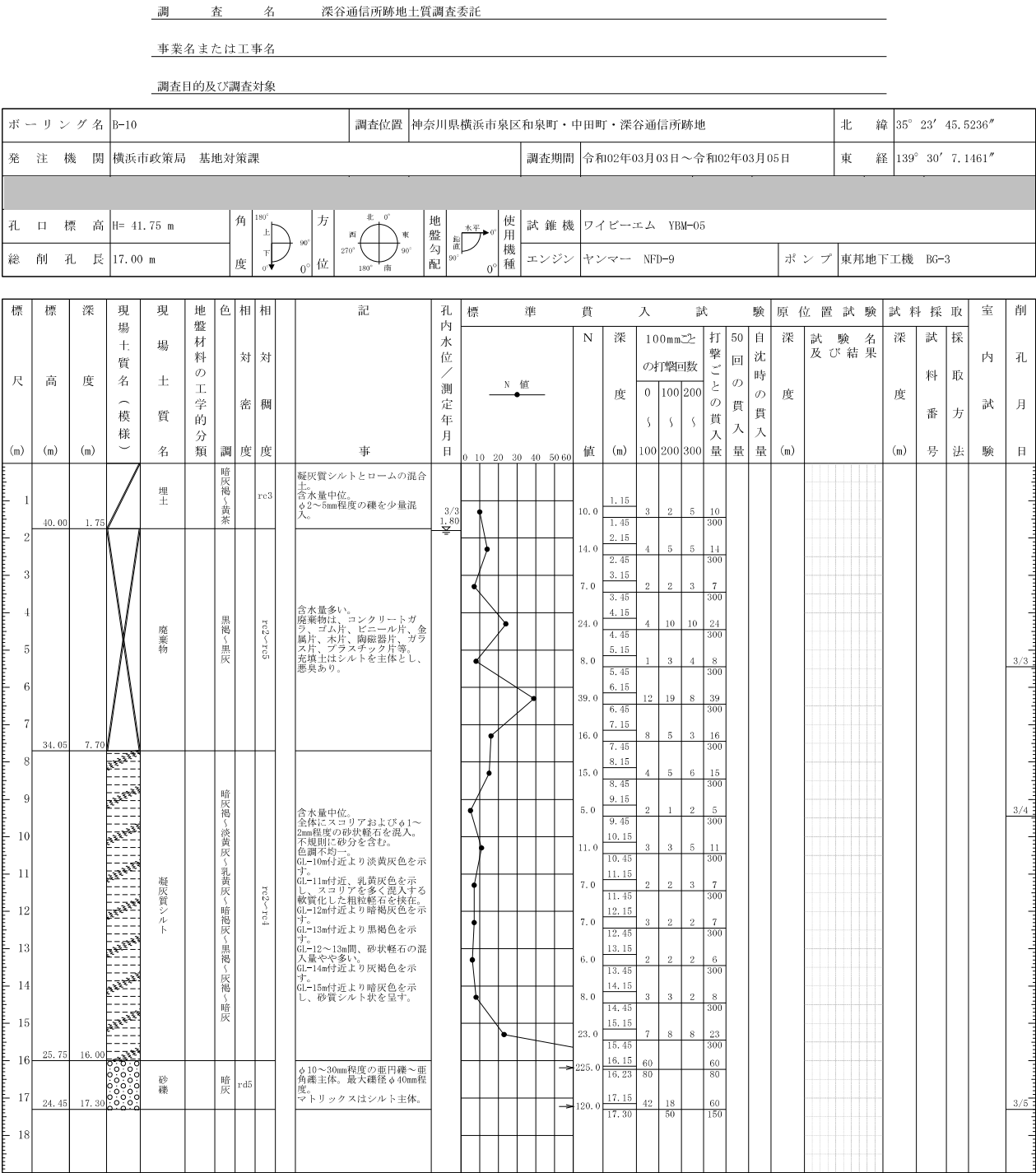







図1.4.2（13） ボーリング調査の結果
資1.4-15

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		B-11		調査位置		神奈川県横浜市長区和泉町・中田町・深谷通所跡地				北緯		35° 23′ 52.4598″									
発注機関		横浜市政策局 基地対策課				調査期間		令和02年02月20日～令和02年02月26日				東経		139° 30′ 17.1504″							
孔口標高		H= 43.34 m		角				方位				地盤勾配				使用機種		ワイビーエム YBM-05			
総削孔長		32.00 m		度				位置				エンジン		ヤンマー TF-90		ポンプ		扶桑工業 V-5			

標尺	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現 場 土 質 名	地盤材料の工学的分類	色 相 対 照 度	相 対 密 度	記 号	孔内水位／測定年月日	標準 貫 入 試 験										位置	試験結果	名 果	深 度 (m)	試 料 番 号	探 取 方 法	室 内 試 験	削 孔 月 日				
										N 値	深 度 (m)	100mmごとの 打撃回数			50 回 の 貫 入 量	自 沈 時 の 貫 入 量	深 度 (m)	試 験 結 果	深 度 (m)									試 料 番 号	探 取 方 法	室 内 試 験	削 孔 月 日
												0	100	200																	
	42.89	0.45		埋土	黒灰			表層5cmはシルト主体。 0.05~0.15mm間、砂を含む。 以下、旧表土の黒ボク土。	0 10 20 30 40 50 60	N	深 度 (m)	100	200	300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試 験 結 果	名 果	深 度 (m)	試 料 番 号	探 取 方 法	室 内 試 験	削 孔 月 日						
1									2/21	3.9	1.15	1	1	2	4																
2									2/21	1.46	1.46	1	1	2	4																
3										3.6	2.15	1	1	2	4																
4										4.8	2.48	90	90	150	330																
5										4.8	3.15	1	2	2	5																
6										4.0	3.46	70	130	110	310																
7										4.0	4.15	1	1	2	4																
8										2.0	4.45	1	1	2	4																
9										2.0	5.15	1	1	2	4																
10										2.4	5.45	170	130		300																
11										2.4	6.15	1	1	1	3																
12										2.9	6.53	150		130	380																
13										10.0	7.15	1	1	1	3																
14										10.0	7.46	120	110	80	310																
15										5.6	8.15	2	5	3	10																
16										8.0	8.45	2	2	2	6																
17										8.0	9.15	2	2	2	6																
18										12.0	9.47	120			320																
19										8.0	10.15	2	2	4	8																
20										12.0	10.45	2	3	7	12																
21										8.0	11.15	2	2	4	8																
22										2.8	11.45	2	2	4	8																
23										5.8	12.15	2	2	4	8																
24										12.0	12.45	120	80		300																
25										72.0	13.15	1	1	1	3																
26										128.6	13.47	120	110	90	320																
27										112.5	14.15	2	2	2	6																
28										100.0	14.46	120		90	310																
29										36.0	15.15	2	2	2	6																
30										36.0	15.45	4	4	4	12																
31										36.0	16.15	7	32	21	60																
32										16.0	16.40			50	250																
33										16.0	17.15	47	13		60																
34										16.0	17.29	40		140																	
35										16.0	18.15	38	22		60																
36										16.0	18.31	60		160																	
37										16.0	19.15	33	27		60																
38										16.0	19.33		80		180																
39										16.0	20.15																				
40										16.0	20.45	18	15	24	57																
41										16.0	21.15	34	26		60																
42										16.0	21.32	70		170																	
43										16.0	22.15																				
44										16.0	22.45	12	12	12	36																
45										16.0	23.15	4	4	4	12																
46										16.0	23.45																				
47										16.0	24.15	4	6	6	16																
48										16.0	24.45																				
49										16.0	25.15																				
50										16.0	25.45																				

図1.4.2 (14) ボーリング調査の結果

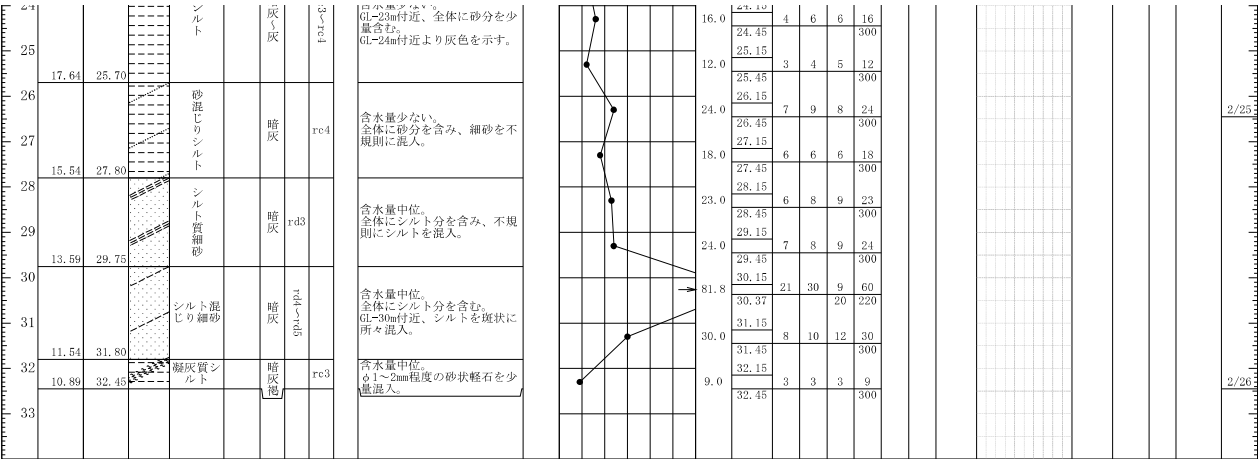





図1.4.2 (15) ボーリング調査の結果
資1.4-17

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名			B-12		調査位置			神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通所跡地				北緯		35° 23′ 50.4464″					
発注機関			横浜市政策局 基地対策課				調査期間		令和02年02月13日～令和02年02月15日				東経		139° 29′ 57.3944″				
孔口標高		H= 42.29 m		角				方位				地盤勾配				使用機種		試錐機 東邦地下工機 D-0	
総削孔長		33.00 m		度		0°		位				ボンプ		東邦地下工機 BG-3					

標 尺	標 高	深 度 (m)	現 場 十 質 名 (模 様)	現 場 土 質 名	地 盤 材 料 の 工 学 的 分 類	色 相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔 内 水 位 ／ 測 定 年 月 日	標準貫入試験										位置試験		試料採取		室 内 試 験	削 り 出 し 月 日	
										N 値	深 度 (m)	100mmごとの 打撃回数			50 回 の 貫 入 量	自 沈 時 の 貫 入 量	深 度 (m)	試 験 結 果	深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法					
												0	100	200												
										0 10 20 30 40 50 60																
1	40.99	1.30		埋土		暗褐色		ルームと黒ボクの混合土。 有機物少量混入。 表層は線を少量混入。	2/13 1.85		2.0	1.35	1	1	2											
2				ローム		茶褐色	rc1	含水量中位。 全体にスコリアおよび有機物を 少量混入。			4.0	1.65 2.15	200		300											
3											2.0	2.45 3.15	1	1	2	300										
4	38.04	4.25									3.0	3.45 4.15	200	1	1	3	300									
5						茶褐色へ暗褐色へ					5.0	4.45 5.15	1	2	2	5	300									
6								含水量やや多い～中位。 全体にスコリアおよびφ1～ 2mm程度の砂状軽石を混入。 不規則に砂分を含む。 色調不均一。 Gl-5m付近より暗褐色を示 す。 Gl-6m付近より灰褐色を示 す。 Gl-7m付近より灰褐色を示 す。 Gl-8m付近より灰褐色を主体 に不規則に黄褐色を示す。 Gl-9～8m間、含水量やや多 い。 Gl-9m付近より暗灰色を示 す。 Gl-10m付近より暗褐色を示 す。 Gl-11m付近より暗黄灰色を示 す。 Gl-12.0～12.25m間、スコリ アを多量混入する乳白色の軟 質化した粗粒軽石を挟む。 Gl-12.25m付近より暗緑灰色 を示す。 Gl-13m付近より暗黄褐色を示 す。 Gl-14m付近より暗褐色を示 す。 Gl-15m付近、やや粘土化して いる。 Gl-16m付近より暗灰褐色を示 す。			1.0	6.45 7.15	300		1	300				6.00			12T-1	T		
7											1.7	7.50 8.15	250	1	1	2	350									
8											10.0	8.45 9.15	2	4	4	10	300									
9											5.0	9.45 10.15	1	2	2	5	300									
10											7.0	10.45 11.15	2	3	2	7	300									
11											9.0	11.45 12.15	2	2	5	9	300									
12											5.0	12.45 13.15	1	2	2	5	300									
13											3.0	13.45 14.15	1	1	1	3	300									
14											5.0	14.45 15.15	1	2	2	5	300									
15											9.0	15.45 16.15	2	3	4	9	300									
16	25.69	16.60									10.0	16.45 17.15	4	3	3	10	300									
17	24.59	17.70		微泥じり 細砂		暗灰	rd4	含水量中位。 φ2～20mm程度の重円礫混 入。			43.0	17.45 18.15	13	14	16	43	300									
18											→112.5	18.31 19.15	34	26		60										
19											→128.6	19.29 20.15	41	19		60										
20											→138.5	20.28 21.15	40	20		60										
21								含水量多い。 φ5～15mm程度の重円～亜角 礫主体。 最大礫径φ70mm程度。 マトリックスは細～中砂。 上部層境付近、シルト分やや 多い。 Gl-20m付近より暗緑灰色を示 す。			→128.6	21.29 22.00	35	25		60										
22											→∞	22.00 22.00	貫入不能			60										
23											→105.9	23.15 23.32	21	39		60										
24	17.69	24.60									→55.0	24.15 24.45	15	16	24	55										
25												24.45 25.15				300										

図1.4.2 (16) ボーリング調査の結果

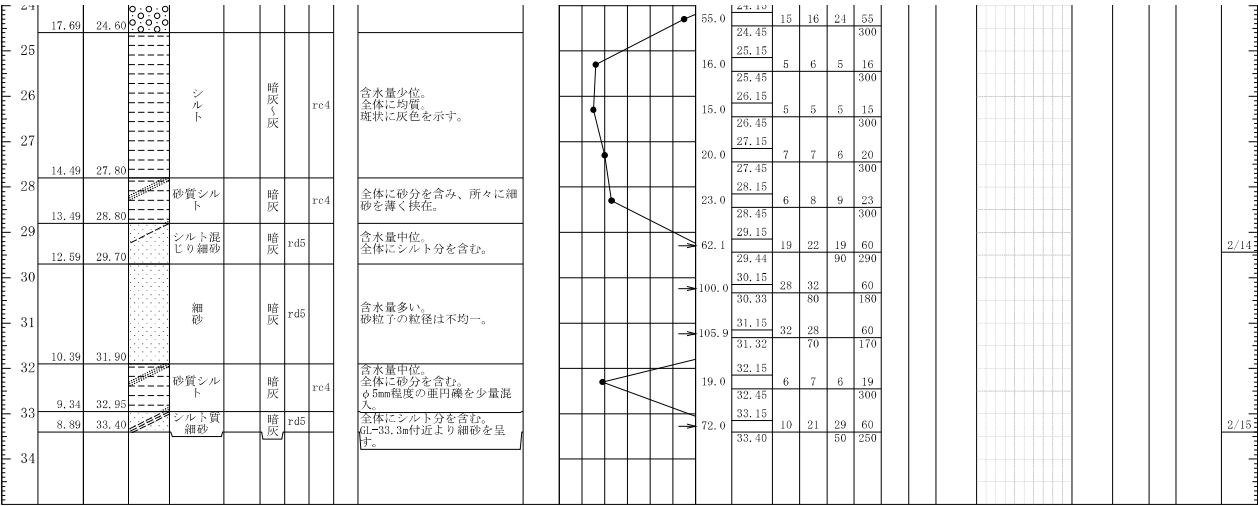


図1.4.2 (17) ボーリング調査の結果
資1.4-19